

ごとう通信

第164号

平成26年8月1日

夏は暑くないとダメだとは思いますが、半端ない日がありますね。個人的には暑いのは嫌いじゃなく、周りで言うほど苦に感じなかったりするのですが、「蒸し暑い」になると話は違います。とにかく不快。カラット晴れ、雨が降るときはしっかり降るという夏に期待しましょう。

さて、以前は本を読むのは嫌いでない方だったのですが、最近ではめっきり読書の機会が減ってしまいました。一つは、本の収納が面倒になってしまったこと、もう一つは…老眼。そこで、本の収納の必要がなく、文字の大きさを調整できる電子書籍にチャレンジするようになりました。し

かし、これが意外とダメなんです。僕は二Page（アイパッド）を利用しているのですが、やはり紙の本に比べて重い。なんとなく読む姿勢が固定できないんです。そしてもう一つ、今読んでいる所

が全体の前半なのか終盤なのか直感的に分からないんです（調べればわかるけど）。紙の本であれば何ページの本の何ページを読んでいるというのはすぐにわかるのですが、文字の大きさや縦横変換できる電子書籍ではページ数という概念がないのです。時代ですから電子書籍に慣れてい

かなくてはならないと思いますが、改めて紙の本の良さを感じます。紙の質感、ハードカバーやソフトカバー、文庫版、新書版などなど。



本を作るときのこだわりってありますもんね。電子書籍も便利ですが、紙の本もなくならないでほしいなあと思います。

偽薬の効用？

ご存知の方も多いと思いますが、薬剤師会のトップの方が「現代日本人は明らかに薬を飲み過ぎ」という主旨の発言をされ話題になりました。個人的には、遅すぎるけど勇氣ある発言だと思っています。確かにいろいろな病気で数多くの薬を飲まなくてはならない方がいるのは事実ですが、おそらく、多くの方が飲み過ぎの

先日、知人の在宅主治医が、精神疾患の薬を減らしていくと寝たきりで